



Topics ~循環器診療に役立つ、最新の話~

心臓再同期療法

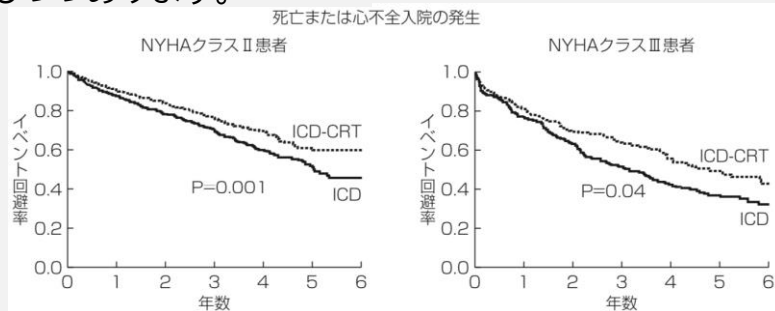
(Cardiac Resynchronization Therapy: CRT)

2004年に登場した心臓再同期療法(CRT)は慢性心不全患者のQOLの改善のみならず、生命予後をも改善する治療法として発展し、今では慢性心不全治療のひとつの柱となっています。最近では早期の心不全例におけるCRTの有効性も示され、その心適応は拡大しつつあります。

心不全の患者は心室内伝導障害が合併する場合があります。そのため右心室と左心室間あるいは左心室内で収縮のタイミングにずれ(心臓同期不全、多くは左脚ブロック症例)が存在し、さらに心機能を悪化させることがあります。この同期不全を是正し効率の良い心収縮をさせる治療を、心臓再同期療法(CRT: Cardiac Resynchronization Therapy)と言います。右心室と左心室からペースングを行うことで収縮のずれを修正する(再同期)治療です。

CRT治療を決定づけたのはMIRACLE試験で、中等症から重症の心不全患者においてCRT群は対照群と比べて、6分間歩行距離、QOL、運動耐容能等の改善が報告されました。最近ではより早期(軽度)のCRT治療の有効性がRAFT試験などにより示されています。

当院では積極的にCRT植え込みを行っております。左脚ブロックで心不全コントロールが不良な患者様がいらっしゃいましたら、是非一度当院にご相談下さい。



RAFT Study Tang AS, et al : Cardiac-resynchronization therapy for mild-to-moderate heart failure. N Engl J Med 363 : 2385— 2395, 2010.

表 37 CRT に関する適応のまとめ

CRT の適応						
NYHA 心機能分類	最適な薬物治療	LVEF (%)	QRS 波形	QRS 幅 (ms)	調律	推奨クラス
III~IV	○	≦ 35	LBBB	≧ 120	洞調律	I
	○	≦ 35	非 LBBB	≧ 150	洞調律	IIa
	○	≦ 35	非 LBBB	120~149	洞調律	IIb
II	○	≦ 30	LBBB	≧ 150	洞調律	I
	○	≦ 30	非 LBBB	≧ 150	洞調律	IIa
	○	≦ 30	LBBB	120~149	洞調律	IIa
III~IV	○	≦ 30	非 LBBB	120~149	洞調律	IIb
	○	≦ 35	LBBB	≧ 120	AF	IIa*
I~IV	○	≦ 35	非 LBBB	≧ 150	AF	IIa*
	慢性疾患による身体制限、または 1 年以上の余命が期待できない					

* : 高頻度で両室ペースングが可能な場合

不整脈非薬物治療ガイドライン(2018 年改訂版)

文責 太田 裕士

スタッフ紹介 Vol.10



太田 裕士

医師

循環器内科 科長

2008年 和歌山県立医科大学卒

宮崎県宮崎市出身です。趣味はゴルフと筋トレで、最近では飛距離300ヤードを目指しゴルフスイングの改造に励んでいます。また、健康の為“良い油”の摂取を心掛けており、トランス脂肪酸を極力避け必須脂肪酸(オメガ3,6)を積極的に摂っており、コーヒーには飽和脂肪酸であるギーやMTCオイル、ココナッツオイルを入れて毎日飲んでいきます。

過去のハートチーム通信はこちら →

